

1月18日(金)実施

「西豆学」成果発表会

西豆の税金や防災対策

連携型中高一貫
教育連絡協 2町の中高生発表

西豆地区連携型中高一貫教育連絡協議会(会長 寺島明彦・県立松崎高校長)は18日、同校体育館で、西豆学合同発表会を開いた。松崎・西伊豆両町の3中学校と県立松崎高、県立東部特別支援学校伊豆松崎分校の代表生徒・グループ10組が、地域学習や職場体験で学んだことや感じたことを発表した。

「町の防災対策」「人口減少の町にも宝は眠っている」などをテーマに発表が行われた。

各校の生徒や教員、町職員、保護者ら約400人が発表に聞き入った。西伊豆中1年の椿知己君と山本駿人君は「ふるさと納税と税金のない暮らし」と題し、ふるさと納税制度や西



西豆学で学んだことや感じたことをグループで発表する生徒—松崎高

伊豆町の税金の活用方法を紹介。その上で「税金のない暮らし」を中学生の生活に合わせて説明した。「今日は学校の集金日。教科書は自己負担、先生の給料も出し合うので5万円

と呼び掛けた。松崎分校は生徒が調べた松崎町の魅力を伝えるモデルコースを紹介した。発表会は郷土体験学習「西豆学」の成果を披露、共有する場として毎年開催している。